

## 安来市DX推進計画アクションプランの実績報告について

総務部DX推進課

DX推進計画アクションプランに掲げる施策の令和6年度の主な取組は次のとおりである。

### 施策No.2 健康診断・遠隔相談の実施（担当課：市立病院・経営管理課）

- ・ オンライン診療の有資格医師を養成（1名資格取得）し、対象者を拡大した。
- ・ オンライン診療の実績は21名（小児科：1名、在宅患者：20名）であった。
- ・ 仮想待合室型オンライン診療の実証実験を実施した。

### 施策No.4 eスポーツの機会創出（担当課：地域振興課）

- ・ eスポーツ普及イベント「eスポーツ運動会」を、一般社団法人島根県eスポーツ連合協力のもと、令和7年1月12日に安来市総合文化ホール アルテピアで開催した。市内外から約800人の来場があり、県内高校のeスポーツ部から多くの部員に参加いただいた。国際友好都市台湾新店区のeスポーツの専門学校とオンラインで対戦し、同世代の高校生同士で国際交流を図った。



### 施策No.5 母子健康情報アプリを活用した子育て支援（担当課：子ども未来課）

- ・ 各種届出等（妊娠届、乳幼児健診等）の際にアプリのダウンロードを促し、利用者拡大を図った。
- ・ マタニティ応援プロジェクト（金芽米無償提供）の応募ツールとして活用し、利用者拡大を図った。
- ・ 子育て教室・イベントのオンライン予約、小児予防接種のスケジュールリング及びリマインド、成長記録の家庭内共有など総合的な支援を行った。



### 施策No.12 河川の水位監視・防犯カメラの設置・活用（担当課：防災課・総務課）

- ・ 河川水位監視カメラを増設【洞貫川(広瀬町広瀬)】し、YouTubeによるライブ配信を行った。
- ・ 通学路の安全確保や防犯対策として、新たに広瀬小学校に防犯カメラを設置した（小学校及びその付近に合計11基設置）。



### 施策No.24 デジタル技術を活用したインフラ設備管理の効率化(担当課:土木建設課)

- ・ 橋梁の点検支援ツールについて、試験運用を経て導入し、本運用を開始した。
- ・ 樋門設備管理のため、一斉架電システム(メール評価型自動音声架電システム)を導入し、運用を開始した。
- ・ タッチパネル式の道路台帳窓口システムを導入し、運用を開始した。



道路台帳窓口システム



橋梁点検支援ツール

### 施策No.30 デジタル人材の育成(担当課:DX推進課)

- ・ 希望する市民に対して、スマホ教室を実施した。また、マルチタスク車両の提供サービスであるスマホ相談会を、市内各所で開催した。
- ・ DX推進リーダーの育成研修を開催。研修内容は動画研修、集合研修、推進会議への政策提言を実施した。
- ・ 管理職員及び一般職員向けDX研修(島根県主催)を実施した。



### 施策No.31 出張行政サービスの実施(マルチタスク車両の活用)(担当課:DX推進課)

- ・ 巡回業務について、関係部署が半期ごとに集まって実績の検証等を行い、運用体制を強化した。
- ・ 提供サービスに「市指定ごみ袋の販売」と「期日前投票」を追加した。
- ・ 提供サービスへの追加を検討している「遠隔診療」について、関係部署による先進地(三重県鳥羽市)視察を実施した。



期日前投票



スマホなんでも相談会

### 施策No.32 統合型GIS（地理情報システム）の構築（担当課：DX推進課）

- ・ 土木建設課、下水道課、水道工務課で利用しているGISシステムを基に、全庁で利用できるGISシステムを構築するため「統合型GIS構築プロジェクトチーム」を立ち上げ、内容を検討した。
- ・ 個別に運用されているGISを統合型GISへ集約し、業務効率化とコスト削減を図った。さらに市民への情報公開および現場での業務利用を可能とする公開型GISを構築し、市民サービスの向上と職員負担の軽減を図った。

